

みえライフイノベーション総合特区の進捗状況について

(1) 平成 27 年度におけるみえライフイノベーション推進センター (MieLIP) の活動状況

県内 7 箇所に設置された MieLIP では、各拠点が特色を生かしたヘルスケア関連の製品・サービスの開発が行われています。

企業等が MieLIP の支援を受けた結果、

- ・新たに取引を開始した製品・サービス件数 97 件
- ・新市場の規模 461 百万円
- ・新規雇用創出数 36 人

となっています (平成 27 年度。ライフイノベーション課調べ)。

主な取組

○MieLIP セントラル (三重大学)

- ・海外市場への販路開拓に向けた企業間マッチング等の支援
- ・県内医療機関と連携した「みえ治験医療ネットワーク」の推進
- ・統合型医療情報データベースの構築
- ・脊椎インプラントの国産化に向けた県内ものづくり企業参画によるプロジェクトの開始 等

○MieLIP 鈴鹿 (鈴鹿医療科学大学)

- ・日清オイリオグループ、鈴鹿医療科学大学、鈴鹿市の三者による健康寿命の延伸に関する産学官連携協定を締結。中鎖脂肪酸が持つとされるアルツハイマー型認知症の症状緩和効果などに着目し、市民約 500 人を対象にした大規模研究などを実施。

○MieLIP 津 (三重県工業研究所)

- ・病院・介護施設 8 施設から製品化につながるニーズを収集するとともに、県補助金等による製品化支援を実施。
- ・脊椎インプラントの国産化に向けた県内ものづくり企業参画によるプロジェクトの開始 (再掲) 等

○MieLIP 伊賀 (三重大学伊賀研究拠点、伊賀市立上野総合市民病院)

- ・井村屋グループ(株)との共同研究による高齢者向け高カロリー豆腐の発売開始。
- ・大手食品メーカーとの共同研究による「ICT を活用した在宅がん患者を対象とした医療支援プラットフォーム」の構築をめざした実証事業を開始。

○MieLIP 多気 (多気町役場)

- ・万協製薬(株)と相可高校生徒との共同で新たにシャンプー、トリートメント等の製品を開発、発売を開始。

○MieLIP 鳥羽 (鳥羽市役所)

- ・鳥羽商工会議所等が開発したボディ化粧品「ボディスキンケアジェル」の販路拡大のため、継続的に機能性の評価等を実施。

○MieLIP 尾鷲（尾鷲市役所）

- ・健康ウォーキングの専門インストラクターである「尾鷲セラピスト」を養成

※MieLIP が関与して獲得した競争的資金獲得件数 7 案件（H25～H28。資料 2 参照）。

（2）統合型医療情報データベースの構築（三重大学医学部附属病院）

データベースの基盤整備と 3 病院（三重大学医学部附属病院、済生会松阪総合病院、尾鷲総合病院）の医療情報の収集と標準化作業を進めるとともに、新たに 5 病院の参加についても現在取り組んでおり、最終的には県内 10 医療機関が参画を予定しています。

30 万人分の医療のビッグデータを活用した画期的な医薬品や医療機器等の開発をめざして、医療情報 DB を活用した企業等との共同研究や他の医療データベースとの連携などの取組が予定されています。

（3）これまでの特区制度の活用（平成 25 年度～平成 27 年度）

- ・総合特区推進調整費の獲得 1 件

MieLIP 及び支援体制の整備（平成 25 年度。予算額 131,585 千円）

- ・総合特区推進利子補給金の活用 7 件

県内製造工場の移設及び販売店舗の開設事業、ジェネリック医薬品等の製造に対応した新工場建設事業、坐剤コンテナの安定調達のための成形機導入事業等

- ・規制緩和

健康増進に資する機能性食品の効能効果の表示・広告についての規制緩和の要望を行い、本要望等をもとに平成 27 年 4 月、機能性表示食品制度が開始されました。

（4）総合特区の評価指標（平成 27 年度分）について

評価指標の一部で未達成の部分がありましたが、おおむね順調に推移しています（詳細については資料 2 参照）。

この評価指標の数値については本年 6 月に内閣府に提出しており、内閣府外部委員による評価結果が本年 12 月頃に行われる予定です。